

## 令和4年度 推薦入学の選抜基準

県立八重山商工高等学校

### 1. 推薦の資格

#### (1) 出願の資格

- ア 令和4年3月に県内中学校を卒業見込みの者
- イ 入学後、本校生徒としての本分を全うし本校の飛躍に貢献し、かつ他の生徒への模範となる者

#### (2) 出願の要件

志願者は、アの要件を満たし、かつイまたはウの要件を満たしている者とする。

(別表 \*令和4年度推薦入学の推薦入試合否判定基準表を参照)

- ア 3年間の評定平均値が3.0以上であること
- イ 次に掲げる諸活動の実績等について自分を表現すること(以下「自己表現」という。)ができること。なお、当該活動の実績については、最も優れた1点を評価する。その証明する資料(賞状・認証状及び表彰の基準が示された大会実施要項、登録メンバーを証明する資料などを含む)の写しをA4版(片面印刷)3枚以内にまとめて提出すること。
  - (ア) 文化活動
  - (イ) スポーツ活動
  - (ウ) 社会活動
  - (エ) ボランティア活動
  - (オ) 資格取得等の活動
- ウ 次に掲げる分野について表現すること(以下「個性表現」という。)ができること。
  - (ア) 音楽、美術、書道等の芸術分野
  - (イ) 文芸、研究等の分野
  - (ウ) 舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野
  - (エ) 留学等の体験的分野

#### (3) 募集定員

(1)	機械電気科	機械コース	.....	6名	(定員の30%)程度
(2)	機械電気科	電気コース	.....	6名	(定員の30%)程度
(3)	情報技術科	.....	.....	12名	(定員の30%)程度
(4)	商業科	会計システムコース	.....	9名	(定員の30%)程度
(5)	商業科	情報ビジネスコース	.....	9名	(定員の30%)程度
(6)	商業科	観光コース	.....	6名	(定員の30%)程度

#### (4) 判定方法

- ①調査書(評定、特別活動など) ②出願申請書等の出願書類 ③面接・実技等をもとに総合的に判断する。面接を受けない者は不合格とする。
- ②推薦項目の推薦基準は推薦基準表に基づく

<推薦基準表>

	推薦分野	A	B	C	D
「自己表現」	(ア) 文化活動	県代表(1位相当)レベル 県最優秀(団体は登録メンバーであること)	県上位(2位相当)レベル 県優秀賞(団体は登録メンバーであること)	県中位(3位相当)レベル 地区代表レベル(団体は登録メンバーであること)	左記のいずれにも該当しないもの
	(イ) スポーツ活動	県:ベスト8以上 (団体競技においては登録選手であること)	県:ベスト16以上 地区:優勝 (団体競技においては登録選手であること)	県:2回戦以上 地区:準優勝 (団体競技においては登録選手であること)	
	(ウ) 社会活動	県レベル以上で表彰を受けた者	市町村レベルで表彰を受けた者	左記のAB以外の表彰を受けた者	
	(エ) ボランティア活動	県レベル以上で表彰を受けた者	市町村レベルで表彰を受けた者	左記のAB以外の表彰を受けた者	
	(オ) 資格取得等の活動	珠算:準初段以上 数検:準2級以上 英検:準2級以上 漢検:準2級以上 パソコン検定(P検):準2級以上	珠算:1級 数検:準2級の1次、2次 どちらか合格、または3級 英検:3級 漢検:3級 パソコン検定(P検):3級		
「個性表現」	(ア) 音楽、美術、書道等の芸術分野	自己表現(ア)文化活動に準ずる 書道:8段程度 (生徒の部) 古典芸能:優秀賞程度	自己表現(ア)文化活動に準ずる 書道:6段程度 (生徒の部) 古典芸能:新人賞程度	自己表現(ア)文化活動に準ずる 書道:4段程度 (生徒の部)	同上
	(イ) 文芸、研究等の分野	自己表現(ア)文化活動に準ずる	自己表現(ア)文化活動に準ずる	自己表現(ア)文化活動に準ずる	
	(ウ) 舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野	自己表現(ア)文化活動に準ずる	自己表現(ア)文化活動に準ずる	自己表現(ア)文化活動に準ずる	
	(エ) 留学等の体験的分野	上記の内容と比較・検討し、点数化する。			

※ 生徒会活動は社会活動に含み、生徒会執行部以上を対象とする。

※ この表に記載されていない内容についてはその都度、表の内容と比較・検討し点数化していく